

2023年度NPO法人京都子育てネットワーク組織図

総会

理事会

事務局

チーム合同会議

【理事役員】

小川・尾田・木村・金高・田中・藤本・松本
監事:西田・菅沼

【役割】

- (1) 総会に付議すべき事項
 - (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
 - (3) その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項
- これらの事項に関して主に方針・予算について決定する。

【事務局構成員】

事務局長(田中)
会計:本体(森川)・いっぽ(藤原)・ま〜ぶりんぐ(小倉)
びおと〜ぶ(佐藤)・わくわく(久保)・ふかふか子育て(笠川)
【役割】・会計事務、会員・関係機関名簿管理、メール管理、文章・会計管理、税金・保険などに関

【合同会議目的】

- ①「報連相」を通して事業の相互理解を深め、必要に応じたスムーズな連携をとる。
 - ②組織全体が一つのチームとなって、ビジョンを達成するための建設的な話し合いをする。
- 【役割】①理事会や各チームから意見を求められた案件に対して合意の上、回答を提出。
②理事会に提案したい案件を協議、合意の上、提

【合同会議構成員】

浅野・伊藤・北裏・瀧井・瀧本・橋・田中・原田・藤本・湯浅・山

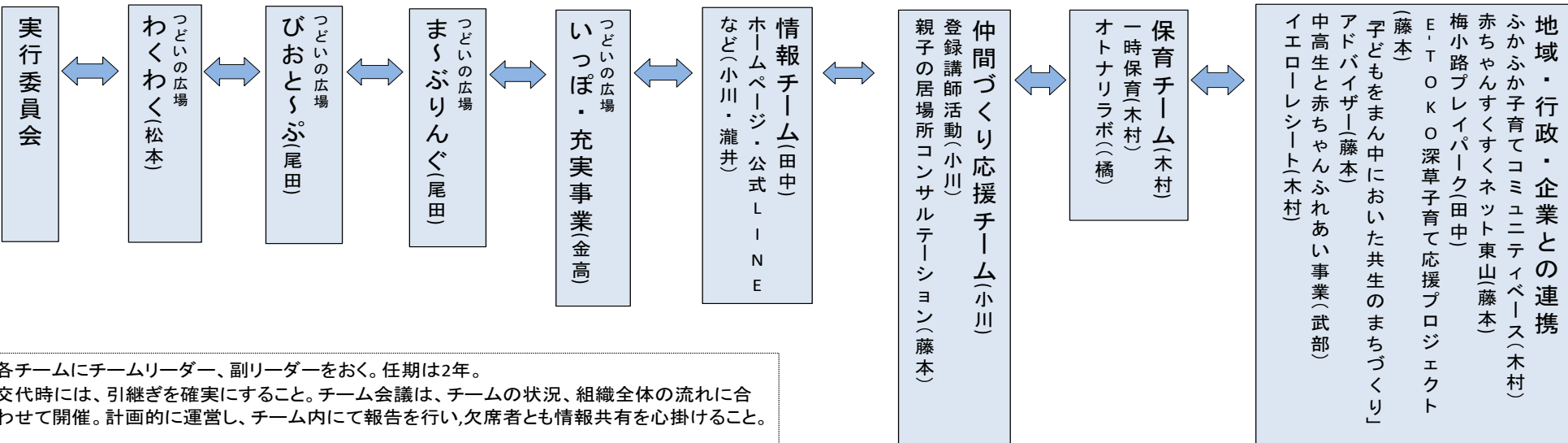
*各チーム、事務局・理事より担当者が出席する。
*年間3回程度開催

【事業統括】

藤本
補助:田中

担当役職名称

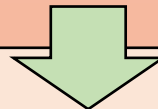
〇〇チームリーダー
↓
△△事業リーダー
↓
□□チーフ
*マネージャー:チーフのサポート



ビジョン推進計画

【解決したい社会課題】

- ①地縁が薄れてつながりを得る機会や気運を失っている。地域・社会で子育てする意識やつながりが持てない。
- ②地域の支えあい・絆が弱いことで、社会全体が生きづらさを抱えている
- ③人との関係性が持ちづらく、孤立した子育てとなっている



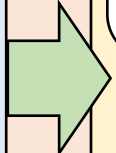
【長期ビジョン/2020年～2026年】

- ・仲間づくりのファシリテーション力で親の社会参画を促進する子育て相互支援の概念が広がり、活気あふれる市民参画社会への可能性が広がっている。
- ・地域で支え合いの子育てができる場所、仲間づくり、十人十色の子育ての共感（ノーマライゼーション）をひろめ、安心してより豊かな子育てができる環境を当事者ととも整備できている
- ・次世代のスタッフが育っている



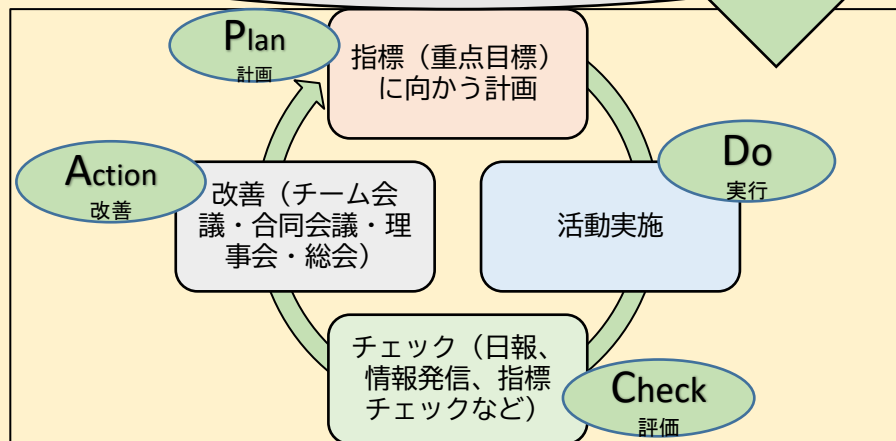
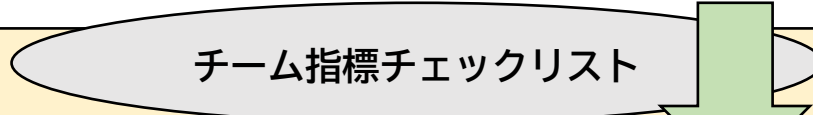
【解決したい方向性】

- ①地域で親の力を発揮できる場をコーディネートする。
↓
つながりのある子育て社会（循環）を作り、孤立した子育てがなくなる。↓
豊かな市民力・地域力が育ち、高齢社会も支えるつながりへと広がることを視野に入れる。
- ②親と子が多様な家族と出会い、交流する場を生み出す。
↓
地域社会に多様な子育ての理解と共感を広げる。
↓
助け合える社会を目指す。
- ③情報収集と発信を行いながら多様な機関とつながり、初めの一步を応援できるネットワークを広げる。内部の情報発信システムと内容がさらに向上し、孤立した親子にも響く。
↓
脱！孤育てで虐待予防。



【中期ビジョン3本柱】

- ①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める
- ②十人十色の子育ての共感を広めよう！
- ③産前・産後の初めの一步を応援しよう！-情報発信と仲間づくりを進めよう-



【中期ビジョン3本柱】	2022年重点指標
①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	仲間同士で共通の目標を設定し、達成感を感じる企画を進めている
②十人十色の子育ての共感を広めよう！	当事者同士が情報交換や交流できる場をもち、理解・共感できる場を作っている
③産前・産後の初めの一步を応援しよう！-情報発信と仲間づくりを進めよう-	共通の話題で会話がしやすくなるなど、親同士がつながるよう努めている

事業報告：成果・課題

- ①【成果】音楽・手芸・運動・パパなど毎月それぞれのクラブ内で利用者がつながった。親が好きなことややりたいことをしている中で心の余裕もでき、互いの子たちの成長も共に喜び、認め合えた。
活動をzoomやアルバム、発表など他の親子に見てもらう機会を作り達成感を生み出している。
【課題】一年経たずと引越しゃや入園でメンバーが抜けていく中、新旧のスムーズな引継ぎが難しくなっている。取り組みを知ってもらうことや企画の時期など日々の広場で丁寧に声を拾っていききたい。
- ②【成果】まずは、当事者同士が安心して集える場を提供できるよう心がけその中でも通常の広場での活動やイベントも組み込んだ。はぐくみ室やSNSを通じ、新規親子との出会い、参加もあった。
ダウン症児サークルにじいろすまいるの運営を後方支援しているが、参加当事者に広場への信頼感も生まれてきている。
【課題】当事者の情報ははぐくみ室しか持っていないが、コロナ禍で親子と保健師の信頼関係ができ上がっていないのでは？と感じている。次年度は健診など戻りつつあるので、勧奨の声が親子に響き、他関係との連携がスムーズに機能再開していくよう期待したい。
行政などの異動があるので、広場がしっかり事業の引継ぎ役を担っていききたい。
- ③【成果】2020年度よりコロナで休止していたプレママ教室が広場での実施という形ではぐくみ室と共催。本所管轄で4回（いっぽ2回）対面実施し、産前より広場を知ってもらうきっかけになった。
4～6月前半は利用者が少なくなるが、「0才児」を対象を明確にした企画やおでかけすしろ（嵐山）や公園など様々な場での活動ができ、初めの一步を後押しした。
【課題】プレママや健診からzoom・0才児企画などへの案内でより早く広場や他の親子とつながりやすい流れを考えていきたい。広場を知らない方へ向けての情報発信に力を入れていく。



2023年度重点指標	達成するための重点内容
①仲間同士で共通の目標を設定し、達成感を感じる企画を進めている	コロナ禍でしぼりのあった定員を状況を見ながら緩和し、申込のハードルをさげ、参加しやすい環境を整える。広場利用2年目やお二人目さんのマンパワーを活かし、よりスムーズにママたちのやりたいことが実現できるよう支援する。
②当事者同士が情報交換や交流できる場をもち、理解・共感できる場を作っている	対面参加が難しい親子とも丁寧に向き合い、いつか交流の場という思いをかなえられるよう努める。「〇〇だから出来ない」という当事者の思いを「〇〇ならできる」と提案できるよう他機関との連携も生かし、実現させたい。
③共通の話題で会話がしやすくなるなど、親同士がつながるよう努めている	申込制のメリットを生かし、来所前に情報を確認して親同士をつなげ、スタッフが適度な潤滑油となり次のステップへ進めるよう声掛けしていく。

【中期ビジョン3本柱】

達成するための重点内容

①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	「なかよしポッケ」メンバーが、皆で共同し企画進行していくことで、達成感とともに絆を深める。また手作り市を再開しママの社会参画を応援。
②十人十色の子育ての共感を広めよう!	個人の悩みに丁寧に対応すると同時に、共感し支え合える関係づくりをすすめる。引き続き行政・専門機関とのスムーズな連携を行う。
③産前・産後の初めの一步を応援しよう!-情報発信と仲間づくりを進めよう-	特に0歳児さんのはじめの一步を応援するために、参加しやすい講座を企画し、そこから継続利用へとつながるよう雰囲気づくり・関係づくりをすすめる。

事業報告: 成果・課題

- ①【成果】サークルメンバーが増え久しぶりに活気ある活動ができた。季節ごとのイベントやお出かけ企画など取り入れ、活発に打ち合わせがなされ、自然と役割分担もできていた。二人目出産も続き、次年度継続メンバーが多く今後が期待できる。3年ぶりの「手作り市」では新しいご縁も広がり、地域の方にも楽しんでもらえるイベントとなった。
【課題】「なかよしポッケ」はコロナ禍で思うようにメンバーを集められなかった間、スタッフがかなり介入してきた経緯があるので、これからはより自主的に活動を盛り上げられるように促していく必要がある。
「手作り市」は来場者数に限界があるため、次からはびおと〜ぷと合同で開催する方向で検討する。
- ②【成果】主に「発達遊び」を通して、ありのままの子ども姿を見守り成長を喜び合う関係性が広がった。新林学区のネットワーク会議において支援者同士の繋がりが深まり、連携が取れやすくなってきている。
【課題】地域全体を見ると、コロナ禍でそれまで紡いできた関係性が退行している状況はあまり変わっていない。今後はぐくみ室と共に再構築を図っていく必要がある。
- ③【成果】0歳児向けに絞った企画を導入、またはぐくみ室にも再度掛け合い、家庭訪問時・健診時に広場の広報を確実にしてもらうよう依頼。結果、0歳児の参加が増え継続利用へとつなげることができた。
【課題】育休中の方が多いため、長期にわたる継続利用が難しいが、引き続き短期間でのつながり作りと共に土曜日の取り組みなどで継続的に来てもらえるような工夫が必要。



2023年度重点指標

達成するための重点内容

①仲間同士で共通の目標を設定し、達成感を感じる企画を進めている	引き続き「なかよしポッケ」のさらなるパワーUPを促す(新メンバー増)。また「なかよしビスケット」の再構築を図り、地域で繋がる関係づくりを進める。
②当事者同士が情報交換や交流できる場を持ち、理解・共感できる場を作っている	コロナ禍前の「和気あいあい」を復活。異年齢交流を進める中で「子育てのヒント」を得たりお互い育ち合う関係性を大切にする。
③同じくらいの月齢の親子をつなげる企画を開催している	参加しやすく魅力的な講座を組み込みながら、継続利用へとつなげるために交流時間を大切にする。関連機関の広報協力も引き続きお願いしていく。

2023年度

【中期ビジョン3本柱】	達成するための重点内容
①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	広場内でママやパパの得意を発信できるようサポート。また高架下マルシェに参加し、地域にも子育て世帯のパワーをアピールできるよう進めていく。
②十人十色の子育ての共感を広めよう！	「発達」に絡めた取り組みや、多様な価値観を共有する取り組みを継続し、当事者同士の支え合いや、地域全体で寄り添い見守る体制作りを進める。
③産前・産後の初めの一步を応援しよう！-情報発信と仲間づくりを進めよう-	パパも参加しやすい取組を導入。家族で気軽にかつ継続的に利用してもらえる関係づくりをすすめる。

実施日時：火・日・祝を除く週5日10時～16時
 実施場所：洛西口駅高架下
 従事者：7人
 受益対象者：子育て家庭
 受益者：4,645人

事業報告：成果・課題

①【成果】「ママが私になれる魔法のマルシェ」を開催。モノづくりが好きな利用者が地域の出店者と一緒に開催。当日は2,500人が来場。企業・地域とともに子育て世代のパワーをアピールできた。

【課題】マルシェ安定継続のための収益の確保とともに、育休中の方が大半の中、幼稚園入園まで過ごされる方、または出産を機に離職された方が孤立感を持たないよう、引き続きママの得意を発揮できる機会や地域貢献ができるきっかけを提供していく。



②【成果】子どもの発達過程を親が理解し、みんなで見守る雰囲気大切にすることで、わが子を寛容かつ客観的に見ることができつつある。また、利用者の思いにしっかりと傾聴し、ニーズを吸い上げることもできている。

【課題】コロナ禍で地域の支援者同士が情報交換をしたり、共同で地域の子ども達を見守る機会が減っている現状を踏まえ、行政と共にしっかりと再構築していく必要性を感じている。



③【成果】家族で参加しやすいイベントを組み込みパパの参加率が上がった。男性の育休制度も進み気軽に利用してもらえている。「もうすぐママじかん」を導入したことで産前から広場の存在を知ってもらうことができ産後利用へとつながった。

【課題】パパ同士のコミュニティが築きにくい。また、育休後は参加が難しくなってしまうが、土曜日イベントの導入等で継続利用してもらえるよう工夫が必要。プレママ・パパ向けの取り組みも継続が必要。



2023年度重点指標	達成するための重点内容
①利用者の得意なことを引き出し、力を発揮できるための提案をしている	あかちゃん物語を「家族サークル」として盛り上げ、ママのみならずパパ同士の繋がりを促す。また「音楽」を切り札に定期的に集まる仲間づくりを進める。
②悩みを抱える親子をみんなで見守る仲間の輪、支援者や専門機関との連携が構築されている	離職して子育てしているママが孤立感をもたないよう配慮しながら、引き続き、当事者同士の支え合いから地域連携まで充実させ親子の暮らしをサポートする。
③チーム間、地域、行政との連携を深め、情報発信ルートをSNS以外でも拡大し、積極的に発信している	SNSで利用者の声・スタッフの紹介等あげていき、より身近に感じてもらうようにする。口コミの力を大切に。企業や病院など、現場で働くパパやママ向けにチラシを配布してもらうよう依頼する。

事業枠： 子育て広場運営

つどいの広場わくわく

2022年度
収入：5,275,222円
支出：5,275,222円

【中期ビジョン3本柱】

2022年重点指標

①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める

ボランティアから京ネット会員や地域への活動へつなげる応援ができています。

②十人十色の子育ての共感を広めよう！

親同士が自分の考えや意見を伝える関係、1人1人が違っていいと認め合える雰囲気作りに努めている。

③産前・産後の初めの一步を応援しよう！-情報発信と仲間づくりを進めよう-

地域資源や、子育て支援、育児に関わるニュースにアンテナを張り、新しい知識を得ようとしている。

実施日時：R4.4～R5.3
実施場所：space2525
従事者：13人
受益対象者：子育て家庭
受益者：2162人

事業報告：成果・課題

①【成果】◎月に一度の子育てサークルはママ達の自主サークルであることを重んじた◎地域で続くサークル「プチきりん」を社協とサポート◎パパだけのパパ喫茶タイムを設定◎企画・チラシ作りからママ達とはじめた「1周年イベント」28名のボランティアと地域の協力もあり2時間半で92名の来場があった。絵本講師として活動を始められる応援ができた。スタッフも対等な立場で接し、お互いが尊重し合いエンパワメントしあえた。

【課題】地域に企業同士が連携した取組はあるが地元で暮らすパパやママが力を発揮したり出会える内容は少ない。関係の構築が必要。

②【成果】◎“違いを豊かさ”に感じてもらえるように声かけをし、気づきや認め合える関係が深くなった。ボランティアの方々も個性を活かして活動。

【課題】当事者の直接の声を発信する機会があれば、広場や会場まで足を運ばない親子や今がタイミングではない親子へも響くメッセージが伝えられる可能性がある。

そのための情報収集

③【成果】◎0歳児の利用割合が62%と非常に高く、スタッフの丁寧な寄り添いや細やかな気くばり、親子を思う気持ちがリピート率を上げている。子育て支援施設の利用が初めてという親子も多い。◎相談が多い離乳食の教室を隔月開催。

【課題】第一子の出産前からつながりもてる企画を進めたいが下京区は出生数が少なくニーズがつかみにくい。



1周年記念イベント
子育て中のパパママによる
わくわくバンド
地域のみなさんによる
読本の読みかたタイム
色が変わる?! カラフルマカス作り
みい〜んな一緒に♡ 思いっきりアート
子育てつぶやき川柳
NPO法人京都子育てネットワーク
京都子育て支援活動いきいきセンター
つどいの広場 わくわく

2023年度重点指標

達成するための重点内容

①利用者の得意なことを引き出し、力を発揮するための提案をしている。

目標：主体的に行動してもらえる広場づくり、地域に暮らすパパ・ママが地域で力を発揮できる関係づくり

②親同士が自分の考えや意見を伝える関係、1人1人違っていいと認め合える雰囲気作りに努めている。

目標：大人も子どもも1人1人を尊重する。違いを豊かさ！声かけ・発信・気づきのある環境づくり

③ちょっとした悩み、子育てに関する話が話せるような身近な相談相手として務めている。

目標：出産後すぐに頼れる場となるよう妊娠中から繋がれる仕掛けづくり

2023年度
収入：5,391,000円
支出：5,391,000円

【中期ビジョン3本柱】	2022年度重点指標
①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	ボランティアから京ネット会員や地域への活動へつなげる応援ができています
②十人十色の子育ての共感を広めよう！	親同士が自分の考えや意見を伝える関係、1人1人違っていいと認め合える雰囲気作り努めている
③産前・産後の初めの一步を応援しよう！-情報発信と仲間づくりを進めよう-	赤ちゃん・子どもの気持ちや行動の意味を代弁して保護者に伝えている。

事業報告：成果・課題

- ①【成果】 今年実施した広場での一時保育において、ひろば利用中の方や地域のママにスタッフとして活躍してもらい、活動に喜びを感じてもらうことができた。地域や京ネットイベントにも出店してもらえたことで、広場以外でもお母さんの力を発揮してもらえた。
 【課題】 一時保育は、年間を通して実施したが思うように利用には繋がらなかった。今後の実施については、アンケートやひろばの声を拾って検証しながら、再度検討する。
- ②【成果】 ランチ付き講座を実施し、講座・交流・食事と長い時間を共にしてもらうことでよりよい繋がりが生まれた。
 【課題】 月齢別の時間では、定員制やコロナの影響からか、利用者が少ないことが多かった。より利用しやすいように、ふれあい遊びや手作り工作を取り入れるなど、工夫が必要
- ③【成果】 特に一時保育・ランチ中の見守りなどでお子さんと深く接する中で、お子さんの様子や特性など感じたことを、お話ししながら伝えられるように心掛けた。
 【課題】 産前・産後の親子さんに、より情報が伝わるように広報に力を入れていく。



2023年度重点指標	目標達成するための事業内容
①利用者の得意なことを引き出し、力を発揮できるための提案をしている	利用中のママに活動してもらえる機会を提案し、広場での講座実施や地域イベントでの出店などで活躍の場を広げてもらう。
②親同士が自分の考えや意見を伝える関係、1人1人違っていいと認め合える雰囲気作り努めている	フリータイム・多胎児の時間などの中でそれぞれの子育てについて話し、共感しあう関係を作る。ネットなどの情報だけにとらわれず、人と人との関わりを大事にして繋がっていく。
③人数をあげる講座にとらわれず、寄り添う時間や交流を大切にしている	月齢別の時間では、よりよい繋がりができるよう交流タイムを設けたりふれあい遊びを実施するなどして、仲間作りを応援する。

【中期ビジョン3本柱】	2022年度重点指標
①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	①保育依頼団体の活動を応援している
②十人十色の子育ての共感を広めよう!	②個々の特性(異文化や障害など)を理解し認めながらその子に応じた保育を行っている
③産前・産後の初めの一步を応援しよう! - 情報発信と仲間づくりを進めよう-	③赤ちゃん・子どもの気持ちや行動の意味を代弁して保護者に伝えている

実施日時:主に土・日
 実施場所:京都市全域
 従事者:13人
 受益対象者:子育て家庭
 受益者:151人

事業報告:成果・課題

- ①【成果】 コロナ禍で激減していた依頼数は着実に増え、新たに依頼団体も増えて、子育て中の親の社会活動に貢献できた。
 【課題】 保育活動をより広げられるよう、活動スタッフと広報のバランスを考えていく。
- ②【成果】 依頼が定着して同じお子さんと接する機会も多くなり、それぞれのお子さんの特性を理解しながら一人ひとりに合った対応を行うことができた。
 【課題】 0歳~小学校高学年までといった幅広い年齢層での保育が多くなり、場所にも制限があるため保育の方法、時間の過ごし方をうまく考える必要がある。年齢によって2箇所に分ける、皆が楽しめる遊びを工夫するなど、それぞれが楽しく満足に過ごせる保育を目指していく。
- ③【成果】 お子さんごとに保育ノートを作成し、保育の様子を記入することで、保護者の方とのやりとり、そしてスタッフ間での情報共有も行えた。保育数が増えることで保護者との関係性も深くなり、保護者からのちょっとした相談を受けることもあった。
 【課題】 引き続き保育ノートを活用し、スタッフ間での情報共有を強める。



2023年度重点指標	目標達成するための事業内容
①保育依頼団体の活動を応援している	依頼された保育をお断りすることなく、確実に、丁寧に対応していく。
②個々の特性(異文化や障害など)を理解し認めながらその子に応じた保育を行っている	保育の中でお子さん一人一人の特性をつかみ、理解して接し方に取り入れ、その場にいるそれぞれが認め合って仲良く過ごせるようにする。
③赤ちゃん・子どもの気持ちや行動の意味を代弁して保護者に伝えている	保育の様子をノートに記載し、引き渡し時にも保護者に伝えて子どもの気持ちに寄り添えるように努める。

2023年度
 収入: 500000円
 支出: 476000円

2022年度
 収入： 36000円
 支出： 27240円

実施日時：1/20, 2/23
 実施場所：下京いきいき、まちぷら
 従事者： 5人
 受益対象者：登録講師、親子
 受益者：56人

【中期ビジョン3本柱】	達成するための重点内容
①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	各種イベント：ママ講師の活動の場を広げていくために、wixとInstagramの充実を図り、京ネットを周知してもらい、会員登録・自主事業の集客につなげる。 ex)wixのママ講師紹介ページの作成・イベント申し込みをスムーズにできる仕組みなど ・恒例イベントになるため場所の定着（他グループ、他機関とも連携）保護者が安心して預けられるよう、温かい対応・声かけを心がける。
②十人十色の子育ての共感を広めよう！	mamaGAKU：広報・申し込みの整備、開催場所との連携、また多様な親子への対応の仕組みなどを工夫し、広く共感の輪が広がる場としていく。
③産前・産後の初めの一步を応援しよう！-情報発信と仲間づくりを進めよう-	子育てスクール：親のエンパワメントができるようママ講師のファシリテーションの意識づけを徹底していく。安心できる場とのつながりが持てるように方向づけていく。

事業報告：成果・課題

①【成果】登録講師に名称を変更し、講師の皆さんにプロフィールシートを作成していただきました。講師の講座を会員の皆さんに知ってもらうことができ、依頼者にも選択の幅が広がったように思います。講師向けファシリテーター研修を開催。京ネットの周知はもちろん、イベントや広場に始めてくる親子の気持ちを体験。アイスブレイクを通して和やかな雰囲気作りと打ち解けやすい場づくりを学びました
 【課題】実際の講座に繋げていけるよう、各個人での落とし込みは必要。イベント開催時に積極的に講座を開いてもらえるよう皆さんに自信をつけてもらいたい。ファシリテーター研修とは別のブラッシュアップ講座（講師同士が繋がれる）ことをしていきたい

②【成果】久々の対面開催が実現。広場利用者以外の参加もありました。mamaGAKUのリピーターもおられ「楽しみにしていました」と声を掛けて頂きました。mamaGAKUをきっかけに広場を知ってもらったり、他の広場から来てくれたり、広域での繋がりを作るきっかけとなりました。
 【課題】参加者さんは広場と京ネットが「イコール」になっておらず、びおと〜ぷのイベントとして来られた方も多くおられました。同じ場所で継続して開催することでイベントの定着を期待したい。

③【成果】11月に開催していた子育てスクールを5月に開催。公式LINEの先行予約では4組すぐに満席。その後の申し込みもすぐにうまり、8組満席での開催。はじめて子育てスクール参加の講師もいるので、ファシリテーター研修での成果を発揮してほしいと思います。
 【課題】実施場所の拡大を目指したいが、来慣れている場所での開催が子どもにとっては安心と言うママのお声もある。コロナで繋がりを求める人も増えてきたので開催回数も増やせればと考える



2023年度重点指標	達成するための重点内容
①講師同士の繋がりを広げ、情報交換をする。講師の派遣場所を広げる。	FA研修の積極的参加やブラッシュアップ研修を開催する。他の講師の講座を理解し合える環境を作る。SNSでのシェア協力。
②参加者同士が交流できる場を持ち、理解・共感できる場を持っている。令和の子育てを理解し情報を得る。	mamaGAKU：イベントを通して、人と場所を繋ぐ（リピーターを増やす）。イベント以外でも広場にボランティアとしてお手伝いいただき、現状の子育ての様子を見聞きする機会を作る。
③初めての人同士でもスムーズに交流できる場を作り、自然に仲間になれる話題や会話を心がける	子育てスクール：子育て楽しいと思ってもらえるよう、子育て仲間づくりを意識する。ファシリテーション技術の向上を目指す。

2023年度
 収入： 74000円
 支出： 141109円

2022年度
収入: 29160円
支出: 19160円

【中期ビジョン3本柱】	2022年度重点指標
①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	子育てサークル・サロン活動の応援、立ち上げサポートなど、アドバイザーとしての役割ができています
②十人十色の子育ての共感を広めよう!	参加者同士が情報交換や交流できる場をもち、理解・共感できる場を作っている
③産前・産後の初めの一步を応援しよう! - 情報発信と仲間づくりを進めよう-	共通の話題で会話がしやすくなるなど、参加者同士がつながるよう努めている

実施日時: 随時
実施場所: 京都生協ブロック・桂東児童館・八瀬サロンなど
従事者: 7人
受益対象者: サロン利用などの子育て家庭・地域住民
受益者: 8団体

事業報告: 成果・課題

- ①【成果】子育てサロンや児童館へ仲間づくりチームで作成した講師派遣情報を配布することで少しずつ利用につながっている。相談事業に関しては、2021年度より継続的に受けている団体や、新規の方5人から相談を受けている。
【課題】相談事業に関しては、一度はお話を伺い、以降は料金が発生しない程度に、マッチする情報が見つかった時に個別に提供している。相談料金を本格的に有料で行う場合にはシステムの入り口の整理をする必要がある。
- ②【成果】25周年記念事業において、十人十色をテーマに行い、そこで団体運営の相談にのることができた。またボランティアセンターなどからの当事者に関する相談があってコーディネートを行うことができた。
【課題】今後も継続的に関わることができるよう多方面への事業のアピールが必要。
- ③【成果】講師派遣のプログラムの中では、オンライン講座もあったがファシリテーションの技術を用いてつながりをつくることができていた。
【課題】仲間づくりチームと連携して、研修を継続的に開催し、バージョンアップ研修も考えながら資質向上に努める。



2023年度重点指標

目標達成するための事業内容

①子育てサークル・サロン活動の応援、立ち上げサポートなど、アドバイザーとしての役割ができています	登録講師はもちろん、会員全体が当団体の登録講師派遣・居場所づくりのコンサルテーションを行う団体であることを意識し、広報と共に相談案件として引き受けていく。
②参加者同士が情報交換や交流できる場をもち、理解・共感できる場を作っている	講師派遣先のサークルなどは一期一会の出会いではあるが、日ごろの活動よりさらに交流が活発になるようにファシリテーター力を発揮する。
③共通の話題で会話がしやすくなるなど、参加者同士がつながるよう努めている	各講師がプログラムを工夫し、受け身で終わらないよう、参加者同士が仲間意識がもてるようにする。

2023年度
収入: 60000円
支出: 37910円

【中期ビジョン3本柱】	達成するための重点内容
①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	地域・行政と情報交換を密にし、正確な情報を常に把握する。必要とする親子に確実に情報が渡るよう努める。
②十人十色の子育ての共感を広めよう！	ファシリテーションスキルを活かし、アイスブレイクなどで初めて出会う親子が1日を通してざっくばらんに話ができる雰囲気・関係性を促す。
③産前・産後の初めの一步を応援しよう！-情報発信と仲間づくりを進めよう-	支援者と参加者がフラットな関係が保てるよう意識する。相手の話にしっかりと傾聴し、その先を引き出せるような言葉がけを意識する。

事業報告：成果・課題

①【成果】今年度はま～ぶらりんぐが中心となり「西京区地域力サポート事業補助金」を申請し実行。西京区内広場3カ所合同でスタッフを動員した。日頃から、広場運営を通して行政などと連携しさまざまな情報を把握している強みを生かし、それぞれの親子に的確な情報を提供することができた。

【課題】とても大切な取り組みであるがゆえに、補助金に頼らず自走できる仕組みづくりが必要。また、行動力と経済的余裕のある方が参加しやすいイベントになってしまわないよう、困りを抱えた世帯がより孤立を深めないような配慮が必要。



②【成果】自己紹介を工夫。ママのこれまでのスキルや経験をお話してもらう時間を設け、そこから共通項を互いに見つけ距離を縮めることができた。また、他のママの持っている情報などを教えていただきそこから話題を膨らませ、会話を盛り上げられるよう努めた。デイステイ終了後も繋がり合い、定期的集まっている方々もいる。

【課題】ママのタイプによりにぎやかにお話する雰囲気が苦手な方もいるので、そのあたりを見極めつつ上手につなげる力も必要。



③【成果】異空間ではあるが、生活の一部を共にすることができたので、抱っこの仕方・食べさせ方・寝かせ方など具体的にお伝えすることができた。様々な話から家庭状況も垣間見れ、そこからママの抱えている不安や不満等引き出し、話をしながら前向きに子育てできるよう整えることができた。

【課題】子育ての継承がしにくい家庭環境に加え、コロナ禍を経てネットなどの情報に振り回される実態は深刻。少しでも早く地域に出向き、他人の子育てを垣間見たり、支援者と出会いバランスの良い子育ての仕方を知る機会を得てもらうことが大切だと感じる。

2023年度重点指標	達成するための重点内容
①	
②	継続・予算組等含み要検討
③	



【中期ビジョン3本柱】	
①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	②十人十色の子育ての共感を広めよう!
③産前・産後の初めの一步を応援しよう! -情報発信と仲間づくりを進めよう-	

達成するための重点内容	
①中学生には自分は他人を喜ばせる存在であることと、自己肯定感を培う機会とする。高校生には、これからの子育ての在り方、親の役割や福祉、社会環境について考えることができるようになさっかけをつくる。	②子育てしやすい環境づくりに今できる事は何か、自分の子どもとしての体験と3人の親の体験の感覚は異なるかもしれないけれど、人生においてのそれぞれの喜びや困難はあるが、それを乗り越える手立てを共感しながら聞く。
③自分の子育て体験を語る事が、社会貢献の場となるとともに、自分の子育てを認める機会となり、母親として人間力が高まる	

事業報告: 成果・課題

- ①【成果】全ての事業で、対面のふれあい授業ができたことが、達成感があった。何より参加のママの表情や生徒達の赤ちゃんとのふれあいでの笑顔が物語っている
【課題】ボランティア募集の広報
- ②【成果】十人十色の子育てを子育て世代と一緒に成長を見守る地域の方々との接点となる子育て支援活動のネットワークを知る事で、子育てをきっかけに自ら進んで社会参画の担い手になる事を知る
【課題】「子育てをする自分」未来の姿をいかにリアルに想像できるかは、話し手の課題
- ③【成果】自分で自分の事を認める事の大切さに気付くと、周りの人たちも大切にしたいと心から話してられる姿に光りを見ます。尊い瞬間です。
【課題】安心安全に話せる環境づくりに十二分に配慮する。

2023年度重点指標	
①中学生には自分は他人を喜ばせる存在であることと、自己肯定感を培う機会とする。高校生には、これからの子育ての在り方、親の役割や福祉、社会環境について考えることができるようになさっかけをつくる	

達成するための重点内容	
赤ちゃんふれあい授業 中学生と高校生の思春期に開催する意義を理解する。 ボランティア募集広報の工夫	

②高校生として、子育てしやすい環境づくりに今できる事は何か、自分の子どもとしての体験と3人の親の体験の感覚は異なるかもしれないけれど、人生においてのそれぞれの喜びや困難を知り、それを乗り越える手立てを共感しながら聞く	
--	--

子育て講演会 子育て支援活動を知る事は、子育ては親1人でできない事を知る初めの一步に出来ている。日本の核家族化の社会構造の変化は、著しく、両親ともにフルタイムで働く現代社会に、子育てを地域ですていくこれからの世代の生徒達へ伝えることは最重要課題	
---	--

③自分の子育て体験を語る事が、社会貢献の場となるとともに、自分の子育てを認める機会となり、母親として人間力が高まる	
---	--

授業に参加する母親の事前交流会 自分の妊娠、出産、子育てを振り返る機会が意外と少なかったんだと感想がとても多く、日々を一生懸命過ごしているんだと自分で認められると自分の自信につながっていく気づきの機会になっている	
---	--

事業枠： 地域・行政・企業との連携

赤ちゃんすくすくねっと東山

2022年度
収入：280000円
支出：203804円

【中期ビジョン3本柱】	2022年度重点指標
①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	アンケートを次の事業に生かしている
②十人十色の子育ての共感を広めよう！	ワークショップの中で、自分の考えや意見を言える関係、それぞれの子育て・活動を認め合える雰囲気作りに努めている
③産前・産後の初めの一步を応援しよう！-情報発信と仲間づくりを進めよう-	地域・行政と連携し初めの一步を応援する

実施日時：通年
実施場所：東山区役所
従事者：2人
受益対象者：主任児童委員・児童館職員など
受益者：30人

事業報告：成果・課題

- 【成果】** ハッピーギフトを通じて子育て家庭とどのようなつながりが生まれているのかなど、実態を把握するために主任児童委員21人にアンケート調査を実施。また、ギフトを申し込んだ131件の子育て家庭にもアンケートを行い、ギフトを受け取った後の地域のつながりの実態とニーズを把握した。それらをもとにして、ワークショップを行い、情報を共有した。

【課題】 ギフトをきっかけにして、子育て家庭は主任児童委員と出会えたことに3割が喜びを感じているが、その後6割が何ら関わる機会がない、と回答。地域の広文児童館などとも連携して、安心して子育てができるつながりを形にしていくことが今後の課題。
- 【成果】** ワークショップでは、主任児童委員と子育て支援関係機関職員、地域住民が出会い、親子の見守り体制やつながりを継続するために、地域で連携してできることを模索した。グループ分けを意図的にエリアで固めることによって、地域性の高い話題で話が展開した。新たな人と場のつながり、民間団体の情報も共有し、今後の展望を描けるきっかけとなった。

【課題】 具体的なアクションにつながるまでのみまもり体制が行政もていっぱいであるために不十分。
- 【成果】** この事業の目的が産後1年以内に主任児童委員がギフトを届け、継続的にはぐくみだよりの配布をし、地域で孤立した子育て家庭をなくすことである。届けるまでの仕組みは地域に十分定着してきている。

【課題】 初めの1歩の次の、もう一押しを仕組みとして構築していく。

東山はぐくみハッピーギフト

2023年度重点指標	目標達成するための事業内容
①多様な子育て情報を知っており、必要に応じてつなげて行けるよう努めている	はぐくみ室と主任児童委員と拠点事業が連携して、主任児童委員がさらに活躍できる場をひろげ、つなげていく
②自主事業において悩みを抱える親子をみんなで見守る仲間の輪、支援者や専門機関と連携をとることを意識している	ワークショップを開催して顔をつなげ、協力関係を促進する
③地域・行政と連携し初めの一步を応援する	ギフト利用件数がさらに伸び、二歩目のつながりも充実していくようにする

2023年度
収入：240000円
支出：197850円

中期ビジョン 3本柱	2022年度重点指標
①地域・行政・企業と連携 お父さんお母さんの力	子どもを真ん中においた地域のつながりを構築できるよう取り組む
②十人十色の子育ての共感を広めよう	どんな親子も楽しめるような遊びの仕掛けを工夫する
③産前・産後の初めの一步を応援	気軽に足を運んでもらえるよう広報に努める

事業報告：成果・課題

①【成果】こども1195人、大人793人、ボランティア 54人の参加があった。隣接する地域の方にお会いし、梅小路公園とプレイパーク事業についてのあり方に関して意見交換をしたり、広報協力をお願いをするなど、初めの連携づくりを行なった。

【課題】近隣の地域住民、学校などにプレイパーク事業がまだまだ周知されていない。

②【成果】リーダーの松田めぐ美さんにより、毎回違った遊びの仕掛けを提供した。季節を取り入れたクラフトや、集団で遊べるゲーム、乳幼児さんも楽しめるお絵描きなど、様々な親子が参加しやすい仕掛けをおこなった。

【課題】引き続き様々な遊びのアイデアを試していきたい。

③【成果】下京区の市民しんぶんや、あつまれ！京わくわくのトビラなど、親子が目にする媒体への広報掲載に加え、わくわくを中心に各広場でチラシを配布してもらうなどした。また、プレイパーク開催時には、公園に遊びに来ている親子に声かけをして参加を促した。

【課題】団体のインスタグラム等 SNSでの発信を強化する。



2023年度重点指標	達成するための重点内容
①地域とのつながりづくりの構築	近隣の小学校への広報や、地域のキーマンとの連携強化
②どんな親子も楽しめる遊びの仕掛け	参加者がみんなで遊べる企画を毎回取り入れる
③気軽に足を運んでもらえるよう広報する	SNSでの発信の強化

【中期ビジョン3本柱】

- ①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める
- ②十人十色の子育ての共感を広めよう!
- ③産前・産後の初めの一步を応援しよう! - 情報発信と仲間づくりを進めよう-

ライター紹介

【E-TOKO深草】深草いittoこ体感プロジェクト

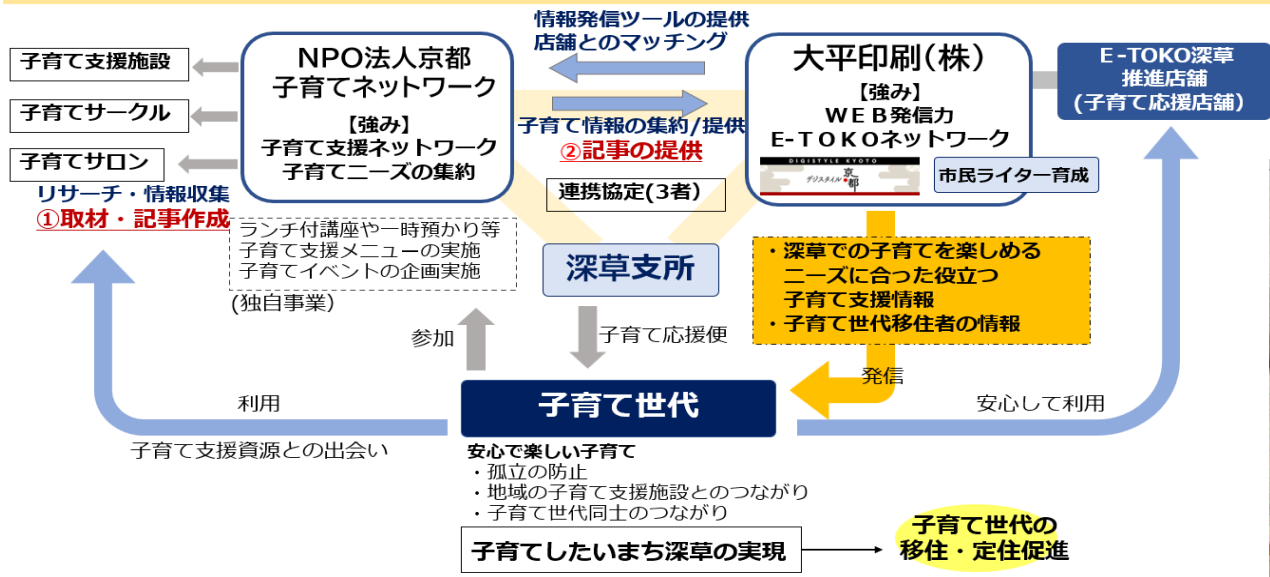


ライター:スタッフNPO法人京都子育てネットワーク

こんにちは!深草ママライターです。写真左から、<左>親子でキャンプやバスケ観戦するのが流行り中のたきしのです!<中>子どもとおもいっきり遊ぶ事とウクレレが好きな朝霧夏です!<右>2人の子どもを育てる日々の中で、親子で楽しめる場所やイベントを探し求めているひさのんです!深草で楽しく子育てができるように、ママ・パパが子どもと一緒にワクワクする素敵な情報を発信していきます! ■■■NPO法人京都子育てネットワークは乳幼児親子の居場所づくり・仲間づくりに取り組み、「循環型の子育て相互支援」の力が社会にひろがることを応援しています。 ■■■

WEB: <https://kyotokosodatenetwork.wixsite.com/kkn1997>

三者連携協定事業概要



京都新聞2023.3.25

2023年度重点指標	目標達成するための事業内容
①スタッフ同士で共通の目標を設定し、達成感を感じる企画を進めている	・ 大好きな地元深草の情報を発掘・発信して子育て家庭のはじめの一步を応援。 ・ 地域で活躍しているママ・パパのネットワークを作り活気ある街づくりを目指す。
②親子が居場所に出会えるよう、子育て情報を発信している	年間24本の親子の居場所やのネタを地域から発掘して書く。季節に適した情報、ママが地域で力を発揮している情報など民間の情報を発信する。
③地域を意識した子育て情報を手渡せるよう心掛けている	子育てに優しい店舗や人、子育て中にも地域を意識して活動されているママ・パパを紹介し、子育てを楽しむつながりや循環が地域に広がるように進める。地域の関係機関のネットワークを強化し、共に孤立予防に努める。

2023年度 収入: 350000円 支出: 315960円

事業概要

京都エルコープ生活クラブが組合員アンケートから「居場所機能」「相談機能」「サポート機能」を組合員は求めていると読み解き、「地域政策」を策定する方針を立てられた。その具体策として「共生のまちづくり」答申案3つの柱にまとまった。

- （1） 子どもをまん中に置いた「共生のまちづくり」
子どもが元気で地域の中で見守られながら育つ子どもをまん中においた子育て・子育てサポートをベースにした共生のまちづくりを組合員や地域の世代を超えたおおぜいの人の参加ですすめていく。
- （2） 参加型福祉の担い手づくり
・組合員だけが対象ではない多様性のあるたすけあいのまちづくりをすすめていくためには欠かせないワーカーズコレクティブをパートナーと位置づけ、生活クラブや地域の団体と連携してまちづくりをすすめていく。
・「あったらいいな」と思うことを、おおぜいの人誰でも参加する機会をつくり、いろんなできることを形やチカラに変えていく地域力を高めるためのサポートとして養成講座を位置づけ展開する。
- （3） 福祉複合拠点の建設
・子どもをまん中におきつつ、地域の人がおおぜい参加し、すべての人が自分らしく生きていける地域になくてはならない機能を持つ、共生のまちづくりにおける福祉複合拠点としてモデル化
・子育て支援施設、高齢者介護施設、だれもが気軽に過ごすことができる食堂・カフェのある居場所、生活支援につながる配食や総菜販売などの食事提供サービス事業、住む場所に困っている人への居住支援などの機能を検討し、ひとつずつ実現していくことで共生のまちづくりのモデル事業とする。

以上の柱を土台として、子育て部会のアドバイザーとしての役割は以下となる。

- ・当事者の意見を踏まえて「子育て・子育て支援策」を策定し主導する
- ・各地域において子育て支援に関心ある組合員の発掘、養成・育成を進める
- ・子育てサポーターの活動の手引きなどの活用要項作成
- ・ワーキングコレクティブ推進部会と連携しながら子育て支援W. Coの設立に向けた方針策定し実行
- ・子育てサポーターの伴走支援

【中期ビジョン3本柱】	目標達成するための事業内容
①地域・行政・企業と連携して、お母さん・お父さんの力、子育てサークル活動を広める	多様な人のエンパワメントの循環をつくりだし、地域の活力を引き出す
②十人十色の子育ての共感を広めよう！	組合のみならず地域の多様な意見を聞き、対話する時間をとりながら進める
③産前・産後の初めの一步を応援しよう！-情報発信と仲間づくりを進めよう-	居場所機能、相談機能を備えた、エルコープならではの強みを引き出した産前産後のサポート事業に展開する

2023年度 収入：300000円 支出：247572円

委員会・会議・研修会など名称	開催日時	地域・行政・企業との連携内容
委嘱・参画委員会など		
つながり作りプロジェクト研修会	11月11日	2011年より京都市のつどいの広場が自主的に情報交換や勉強会などに取り組んできたが、コロナで対面での開催は2年ぶりとなった。ま～ぶりんぐ尾田氏に発達遊び、わくわく松本氏にHSC敏感なお子さんについてそれぞれ報告いただき、学びとなった。17施設と育成推進課(門脇氏、高田氏)の23名が参加。
子育て支援医療助成制度あり方検討会議委員	9月14日、11月11日、1月17日	京都府における子育て世代の医療助成の在り方について医療関係・福祉関係・市町村と検討。子どもの健やかな成長を社会で支えることが最優先となっており子育てに優しい京都といえる。親の収入で区別することなくすべての子どもに等しく無償可を提案。
京都府特定事業主行動計画評価委員会	11月21日	子育てに関する処遇改善、子連れ出勤の取り組みなどについての意見交換。京都府庁ならではの取り組みで終わらず民間でもできるような創意工夫の提案を。
京都府子育てに優しいまちづくりモデル事業交付金の選定に関わる意見聴取	9月2日、3月24日	京都府7市町村の子育てに優しいまちづくり事業を審査
産学連携京都 ママパパ応援プラットフォーム事業有識者意見聴取	8月23日	産学公連携によるプラットフォームを構築し、子育てに関係する様々な商品・サービスを提供している企業等の情報収集や課題の分析、子育て世代の状況分析等を行いながら、子育てに役立つサービス等の創出や普及により、子育てが楽しくなるような環境づくりを進める企業の選考
京都市社会福祉協議会児童館事業委員会	3月2日	令和5年の事業計画について意見交換。ネットワークを活かした地域の児童福祉の拠点施設としての活動について意見。
京都はぐみ憲章子育て応援交流	2月3日	近隣エリアの団体で交流。
京都市福祉ボランティア運営委員会	3月3日	令和5年の事業計画について意見交換。福祉教育に網がる多様な当事者の思いを聴く講座の推進に共感。
京都はぐみネットワーク・子育て応援交流	7月1日、2月3日	近隣エリアの団体で交流。
第1回子どもを共に育む京都市民憲章推進協議会	4月11日	令和4年度行動指針審議
第1回～5回京都市バスの路線・ダイヤの在り方に関する検討委員会	6/15,8/31,10/5,11/18,12/4,2/15	検討委員として今後の市バス路線ダイヤ編成に向けての検討課題について議論。
高架下大学	4/24・5/29・6/12・6/26・10/30	各団体や有志がさまざまな企画を持ち寄り、「トートの文化祭」と称して、阪急とともに洛西口駅高架下を盛り上げるための運営サポート会議。びおと～ぶは「ママが私になれる魔法のマルシェ」を開催するにあたりこの会議に参加。企画内容のブラッシュアップを繰り返しながら9/25開催。
西京区子育て支援ネットワーク連絡会本所幹事会	5/10・6/14・8/30・11/8・2/14	西京区役所子どもはぐみ室・つどいの広場・社会福祉協議会・民生児童委員が集まり、地域の子育てに関する情報と課題の共有、支援者向け研修の内容検討等行う。6/14は基幹ステーションと合同で会議を持ち、情報共有と有効な連携を図る。8/30は民生主任児童委員対象に「はじめましてあかちゃん訪問研修会」を開催
川岡学区ネットワーク会議	12月1日	桂児童館を中心に、川岡学区の保育園・幼稚園・小学校・民生児童委員・つどいの広場・西京区役所子どもはぐみ室が一堂に会し情報共有の場を設ける。コロナ禍以降ストップしており、今年度ようやく再開。びおと～ぶ初参加。
西京区つどいの広場交流会	2月13日	代表者会議の内容の共有と、各広場の情報交換・課題の共有の場。西京区役所本所・洛西支所子どもはぐみ室からも出席。
西京区子育て支援ネットワーク連絡会支所幹事会	6月3日、6月30日、12月5日、3月8日	地域の子育ての現状・情報交換・各種取り組みに関する検討・研修内容の検討など6/30・3/8は基幹ステーションとの合同会議。
新林学区ネットワーク会議	7月15日、2月17日	児童館中心に、学区内の小学校・保育園・つどいの広場・学区社協・民生児童委員・自治連合会会長(保護司)が参加。地域の子どもに関する実情を共有、情報交換。
たけっこぐんぐんプロジェクト委員会	7月5日、9月20日、1月24日、3月20日	スタンプラリーについての検討・あかちゃん訪問事業の実情と今後の見通し。1/24はあかちゃん訪問研修会。訪問の実情と今後の方向性を検討。
西京区子育て支援ネットワーク連絡会・要保護児童対策地域協議会合同代表者会議	10月26日	年1回、西京区の関係機関が集まり、西京区の子育ての現状を共有。今年度ま～ぶりんぐ・びおと～ぶがつどいの広場の代表として参加。以後、つどいの広場交流会で共有。
西京区つどいの広場交流会	2月13日	代表者会議の内容の共有と、西京区内のつどいの広場の情報交換・課題の共有の場。西京区役所本所・洛西支所子どもはぐみ室からも出席。
地域ステーション会議	6月15日、2月17日	洛西地域の支援機関が一堂に会する「らくさいつこあつまれ～」開催に向けた打ち合わせ・見返り。コロナ禍からの緩和によって、どのようなやり方で原状に戻していくか検討。
洛西ニュータウンまちづくり会議	9月21日、10月6日、2月15日	洛西ニュータウンまちづくりアクションプログラムの後継。住宅政策を前面に出し、若い世帯をどう取り込んでいくか検討。
ぐんぐんぶらす	8月22日	各児童館輪番制。「らくさいきのひろば」を使って、1歳半以上未就園児対象に交流の場を設け、子育てにまつわる相談にも対応。8月は学童対応で多忙のため、つどいの広場(ま～ぶりんぐ・のこちゃん広場)が担当。
桂学区子育て支援連絡会	7月4日、2月27日	西京児童館を基幹ステーションとし14施設とはぐみ室との情報交換、共有。依然としてコロナ禍が続き、連携事業などは開催出来ず。子育てステーション研修「健康の秘訣は健やかな腸から」を3/3(金)に実施。次年度のステーション事業にて、公園事業の再開を確認。
ふかくしゃべりば	月1回第3(4)水曜日	深草地域各団体のイベント等報告・情報共有
研修・講演活動など		
桂児童館「いっしょに遊ぼう・みんなで学ぼう」	4月19日、10月20日	桂児童館・西京区役所子どもはぐみ室・つどいの広場(いっしょ・びおと～ぶ)・保育園共催。言語聴覚士の講座を開催し、親向けに学びの時間を設ける。同時に、支援者が子どもの様子を見守る。その後希望者対象に個別相談。それぞれ必要な支援へとつなげる。
川岡東児童館「きらきらクラブ」	5/25・6/29・7/20・9/28・10/26・11/30・2/22	支援が必要と思われるご家庭が対象。療育施設「ののほな教室」とつどいの広場・保育園・児童館・西京区役所子どもはぐみ室共催。遊びながら子どもの様子を見守り、親の不安・悩みをヒアリングする。必要に応じて具体的支援へとつなげる。
京都教育大 社会教育論授業	7月21日	NPOと社会教育論というテーマをNPO活動の意義や現状について学生さんに向けてお話しした。
知事との行き活きトーク/京都府	9月17日	京都府で「ないてもかましまへんキャンペーン」が展開されているが、泣いてもいいよ、だけではなくもうワンアクション手を差し伸べたり温かいまなざしが広がる実践を伝える。また、当事者のつばやきを聴くことで思いの共感が広がり、泣いても見守ってもらえる風土が広がる、という活動を話した。
子どもの居場所づくりの現状と方向性/社協	10月12日	実践の中で見えている状況を子ども食堂、子どもの権利、などを柱に活動している団体と意見交換
子育て支援の必要性と意義/生活クラブ京都エルコープ	12月16日	理論と政策・制度と京ネットの実践、これからの展望を紹介

数字で見る中期ビジョン3本柱の活動状況

1. 会議開催年間報告（各会議報告書は各委員会にて管理）

2022年度	総会・ 合同会議	事務局会 議	チーム会 議	理事会
4月		26日		9日28日
5月	総会14日			
6月	10日	30日		11日
7月				8日
8月				
9月				9日
10月	21日		保育8日	16日
11月		28日		4日
12月				9日
1月				
2月				18日
3月	17日	8日	仲間づく り7日	31日

※広場は毎月開催

2. 会員数(人)

	正会員	個人会員	ママ講師	賛助個人	賛助団体
2020年度	45	18	25講座	5	2
2021年度	44	15	19人23講座	5	3
2022年度	46	17	21人45講座	5	4

3. 十人十色の子育ての共感を広めよう！

当事者の交流の場の企画回数、及び利用組数

当事者性	いっぽ	ま～ぶりんぐ	びおと～ぶ	わくわく	ふかふか
多胎児	5回18組			1回いっぽと共催	6回(3組)
アレルギー	—			帝王切開を 語る会1回4 組	
ダウン症	13回68組				
発達の不安	11回46組	24回117組	24回141組	6組	
口唇口蓋裂	1回3組				
HSC				1回1組	
低出生体重児	1回6組				

4. 産前・産後の初めの一步を応援しよう～情報発信と仲間づくりをすすめよう～

(1) 年間延べ利用者数(人)

	京ネット総数	いっぽ	ま～ぶりんぐ	びおと～ぶ	わくわく	ふかふか	備考
開催時間	全事業合計	週5日・6h	週5日・6h	週5日・6h	週5日・6h	週2日・5h	
2020年度	10,961	4,379	1,961	9/11開所2912	—	913	6/18まで閉所
2021年度	9,726	2,834	2,073	3,186	3/18開所60	706	利用人数制限あり
2022年度	19,519	5,487	2,912	4,645	2,162	477	ふかふか開所：第4・5月曜 第2・5水曜

年度	いっぽ	ま～ぶりんぐ	びおと～ぶ	わくわく	ふかふか
(2) 新規利用者組数(組) ()=0歳児の利用組数					
2020年度	118(65)	68(36)	327(155)	—	24(17)
2021年度	113(52)	56(25)	234(160)	20(7)	28(19)
2022年度	150(96)	69(39)	227(139)	173(110)	37(31)
2022年度 出生数	西京:754人	洛西:191人	西京:754人	下京:494人	深草:369人

(3) 妊婦利用者の数(兄弟を連れていない妊婦)(人)

2020年度	0	0	0	—	0
2021年度	1	0	0	0	1
2022年度	5	0	5	1	1

(4) 初来所のきっかけ () = 昨年度の組数

紹介	87(43)	12(19)	40(78)	40(9)	8(5)
配布物	45(30)	42(31)	91(149)	48(2)	17(14)
SNS	14(14)	10(10)	34(38)	48(2)	7(3)
通りがかり	1	2	60	36	4
その他	3(24)	3(8)	0(75)	1(7)	1(5)
未記入	0(2)	0	2(5)	0	0(1)

(5) 利用回数が1回のみだった組数(年度末3月の参加者含む)

1回のみ利用者	65組	21組	133組	84組	27組
---------	-----	-----	------	-----	-----

5.地域・行政・企業と連携してお母さんの力・サークル活動を地域にひろげよう！

(1)質問項目	いっぽ	ま～ぶりんぐ	びおと～ぷ	わくわく	ふかふか
親主体の企画(イベント・講座など)を行った回数、及び内容	6回(絵刺繍・アルバム作り2回・ピアス作り・プレママ教室・ピラティス)	なかよしポッケ(毎週金曜日)季節の工作・身体遊び・外遊び・水遊び・消防署見学・夏祭り・クリスマス会・卒会・なかよしビスケットとの交流手作り市(7/8)ハンドメイドの得意なママ達が集まり開催	あかちゃん物語(隔月1回)季節の工作・リトミック・身体遊び・お花見・保育園に関する情報交換 ママが私になれる魔法のマルシェ(9/25)ハンドメイドの得意なママ達に	あかちゃんアート撮影12回 あかちゃんアート撮影会3回 子育てサークル18回 わくわくバンド2回 絵本講座3回 ウクレレ演奏1回	9回 手作り企画6回(キーホルダー、ランタン、サンキャッチャー、アルバムカフェ、手形足形3回)100円商店出店・びおマルシェ出店
新しいサークルや居場所作りをサポートした数	1にじいろすまいる(ダウン症親子のサークル)	0	0	子育てサークル立ち上げ3回 ぷちきりんサポート6回	なし
ママボラの人数	14人	10人	4人	14人	11人(一時保育・双子ちゃんの日ボランティア・親主体企画実施・企画計画・マルシェ等出店)

(2)登録講師派遣

	派遣隊登録数(新)	活動総数	派遣場所
2020年度	25講座(5)	42回	いっぽ(13)スクール(4)mamaGAKU(12)アドバイザー(13)
2021年度	24講座(3)	71回	いっぽ(20)ふかふか(5)スクール(4)mamaGAKU(8)デイスティ(8)アドバイザー(26)
2022年度	45講座	44回	いっぽ(25)ま～ぶりんぐ(1)わくわく(2)ふかふか(5)デイスティ(3)mamaGAKU(3) 京都生協西ブロック・東ブロック・北ブロック・桂東児童館・八瀬子育てサロン

(3)報道関係掲載

日程	報道機関主催など	内容
2022.5.12	読売新聞	子育て支援拠点増す役割
2022.6.1・11.2	ZTV(洛西ケーブルテレビ)	おそとであそぼ!プチ*プレイパーク取材
2022.9.20	京都新聞	帝王切開を語る会
2022.10月	下京区社会福祉協議会広報誌	お菓子で備蓄を考えよう
2022.12.14	ZTV(洛西ケーブルテレビ)	洛西ニュータウンPR動画撮影

2023.2.4	京都市リビング新聞	子育ての喜怒哀楽が川柳に
2023.2.8	京都新聞	子育てが紙芝居に
2023.2.8	読売新聞	子育て川柳NPOが展示
2023.2.15	京都新聞	子育て喜怒哀楽にあふれ 川柳945点展示会
2023.2.22	IN/SECTS	UR都市機構 webマガジン取材
2023.3.25	京都新聞	子育て情報発信へ連携
2023.3.25	毎日新聞	UR都市機構 コラム「暮らしっく」掲載

京都市リビング新聞